

授業科目	こどものうたと伴奏法 I (CD クラス)				単位	1				
履 修	選択	関連資格	幼二種免 保育士			ナンバリング	CH21505J			
開講年次	2 年	開講時期	前期	該当DP	DP5-2					
担当教員	山路 麻佳、濱之上 史織、加藤 愛子(保育)、山本 佳代子(保育)、飯田 知津子、三重野 彩香、後藤 香織、香月 このみ、井原 花綸、中村 紗和子									
授業概要	1年次の「こどものためのピアノ I」(前期)の単位を未修得の学生、および「こどものためのピアノ II」(後期)の単位を未修得の学生については、上記2科目において設定している課題曲までの履修を目指し、個別レッスン形式にて学ぶ。また、既により上記2科目の単位を修得済みの学生については、さらに柔軟に保育の現場でピアノ演奏技能を応用できるよう、コードネームを用いた伴奏付けなどについても個人の進度に合わせて実践的に学ぶ。									
学生が達成すべき行動目標	各自の進度や1年次のピアノ実技科目の履修および単位修得状況に合わせて個別に設定される課題曲を教材とし、さらにピアノを用いた歌の伴奏の技能を向上させることができる。									
達成度評価										
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考		
総合評価割合	0	0	0	50	0	50	100			
知識・理解 (DP1-1)										
知識・理解 (DP1-2)										
知識・理解 (DP1-3)										
知識・理解 (DP1-4)										
思考・判断 (DP2-1)										
思考・判断 (DP2-2)										
関心・意欲 (DP3-1)										
関心・意欲 (DP3-2)										
態度 (DP4-1)										
態度 (DP4-2)										
態度 (DP4-3)										
技能・表現 (DP5-1)										
技能・表現 (DP5-2)				50		50	100			
技能・表現 (DP5-3)										
具体的な達成の目安										
理想的レベル					標準的なレベル					
自分の進度に合わせ、また1年次の演習を踏まえてより演奏技能を高めるとともに、ピアノを用いた保育現場での音楽表現にふさわしい教材・作品の選曲や演奏ができる。					自分の進度に合わせ、1年次の演習を踏まえてより演奏技能を高めることができる。					
授業計画										
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)		
1	テーマ:各自の進度に合わせた個別レッスン1 幼児唱歌演奏「アイアイ」「とんでったバナナ」			各自の進度に合わせて個別レッスンを		1年次終了時の自らの履修状況を踏まえ、担当教員から指		90		

	幼児さんびか「あさひがぱっと」	行う	定される課題曲の演奏について予習・復習を行う。楽譜上の記号・用語について不明なものは事前に調べておく。	
2	テーマ:各自の進度に合わせた個別レッスン2 幼児唱歌演奏「おもちゃのチャチャチャ」「うみ」 幼児さんびか「わたくしたちは」	各自の進度に合わせて個別レッスンを行う	自らの履修状況を踏まえ、担当教員から指定される課題曲の演奏について予習・復習を行う。楽譜上の記号・用語について不明なものは事前に調べておく。	90
3	テーマ:各自の進度に合わせた個別レッスン3 幼児唱歌演奏「大きな古時計」「線路はつづくよどこまでも」 幼児さんびか「いのちのはなかご」	各自の進度に合わせて個別レッスンを行う	自らの履修状況を踏まえ、担当教員から指定される課題曲の演奏について予習・復習を行う。楽譜上の記号・用語について不明なものは事前に調べておく。	90
4	テーマ:各自の進度に合わせた個別レッスン4 幼児唱歌演奏「七つの子」「ふしぎなポケット」 幼児さんびか「ぱらぱらおちる」	各自の進度に合わせて個別レッスンを行う	自らの履修状況を踏まえ、担当教員から指定される課題曲の演奏について予習・復習を行う。楽譜上の記号・用語について不明なものは事前に調べておく。	90
5	テーマ:各自の進度に合わせた個別レッスン5 幼児唱歌演奏「やぎさんゆうびん」「雪のペンキやさん」 幼児さんびか「うれしいクリスマス」	各自の進度に合わせて個別レッスンを行う	自らの履修状況を踏まえ、担当教員から指定される課題曲の演奏について予習・復習を行う。楽譜上の記号・用語について不明なものは事前に調べておく。	90
6	テーマ:各自の進度に合わせた個別レッスン6 幼児唱歌演奏「まっかな秋」「おばけなんてないさ」 幼児さんびか「主われをあいす」	各自の進度に合わせて個別レッスンを行う	自らの履修状況を踏まえ、担当教員から指定される課題曲の演奏について予習・復習を行う。楽譜上の記号・用語について不明なものは事前に調べておく。	90
7	テーマ:各自の進度に合わせた個別レッスン7 幼児唱歌演奏「おはながわらった」「あわてんぼうのサンタクロース」 幼児さんびか「おいのり」	各自の進度に合わせて個別レッスンを行う	自らの履修状況を踏まえ、担当教員から指定される課題曲の演奏について予習・復習を行う。楽譜上の記号・用語について不明なものは事前に調べておく。	90
8	テーマ:各自の進度に合わせた個別レッスン8 幼児唱歌演奏「お星さま」「犬のおまわりさん」 「自由曲(ブルグミュラー)1」	各自の進度に合わせて個別レッスンを行う	自らの履修状況を踏まえ、担当教員から指定される課題曲の演奏について予習・復習を行う。楽譜上の記号・用語について不明なものは事前に調べておく。	90
9	テーマ:各自の進度に合わせた個別レッスン9 幼児唱歌演奏「おなかのへるうた」「さよならのうた」 「自由曲(ブルグミュラー)2」	各自の進度に合わせて個別レッスンを行う	自らの履修状況を踏まえ、担当教員から指定される課題曲の演奏について予習・復習を行う。楽譜上の記号・用語について不明なものは事前に調べておく。	90
10	テーマ:各自の進度に合わせた個別レッスン 10 幼児唱歌演奏「おべんとう」「あめふりくまのこ」「自由曲(ブルグミュラー)3」	各自の進度に合わせて個別レッスンを行う	自らの履修状況を踏まえ、担当教員から指定される課題曲の演奏について予習・復習を	90

			行う。楽譜上の記号・用語について不明なものは事前に調べておく。	
11	テーマ:各自の進度に合わせた個別レッスン11 幼児唱歌演奏「にじ」「おはなしゆびさん」「自由曲(ブルグミュラー)4」	各自の進度に合わせて個別レッスンを行う	自らの履修状況を踏まえ、担当教員から指定される課題曲の演奏について予習・復習を行う。楽譜上の記号・用語について不明なものは事前に調べておく。	90
12	テーマ:各自の進度に合わせた個別レッスン12 幼児唱歌演奏「サっちゃん」「生活の歌1」 「コードによる伴奏付け1」	各自の進度に合わせて個別レッスンを行う	自らの履修状況を踏まえ、担当教員から指定される課題曲の演奏について予習・復習を行う。楽譜上の記号・用語について不明なものは事前に調べておく。	90
13	テーマ:各自の進度に合わせた個別レッスン13 幼児唱歌演奏「みんなともだち」「生活の歌2」 「コードによる伴奏付け2」	各自の進度に合わせて個別レッスンを行う	自らの履修状況を踏まえ、担当教員から指定される課題曲の演奏について予習・復習を行う。楽譜上の記号・用語について不明なものは事前に調べておく。	90
14	テーマ:各自の進度に合わせた個別レッスン14 演奏発表に向けて課題曲のリハーサル	各自の進度に合わせて個別レッスンを行う	各自の課題曲について復習し、次回の演奏実技発表へ向けて準備を行う。	90
15	テーマ:課題曲の演奏発表と授業のまとめ	指定する課題曲の演奏発表と授業のまとめを行う	当科目の振り返りをもとに自らの課題を明らかにした上で、次の「こどものうたと伴奏法Ⅱ」の履修へ向けた準備を開始する。	90
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				

理解に必要な予備知識や技能	事前にテキストに目を通し、歌詞の内容や記号・用語の意味について理解しておくこと。また、「こどものためのピアノⅠ」および「こどものためのピアノⅡ」で習得したことを踏まえて、弾き歌いの演奏技能や実際に保育現場で活用できるピアノ伴奏の技術を身につけていけるように各自で練習を始めておくこと。
テキスト	朝日出版社『新・幼児の音楽教育』 キリスト教保育連盟『幼児さんびか』
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	音楽之友社『バイエル ピアノ教則本』 その他「マーチ」等のプリント(楽譜)を各自の進度に合わせて適宜配布する。
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	1年次と同様に毎日の練習の積み重ねが非常に大切です。当科目では、ピアノの演奏技能に加えて、「歌う」ことの要素が入ってきますので、自らが歌いながら、かつピアノ演奏も安定させることができるように、しっかりと実践を繰り返して下さい。また歌詞で用いられている一つ一つの言葉の意味や季節感などもよく感じ取って、より表情豊かな演奏表現ができるように心がけて下さい。
達成度評価に関するコメント	課題曲の演奏発表の内容やその他の評価基準等については別途、授業内において伝達する。